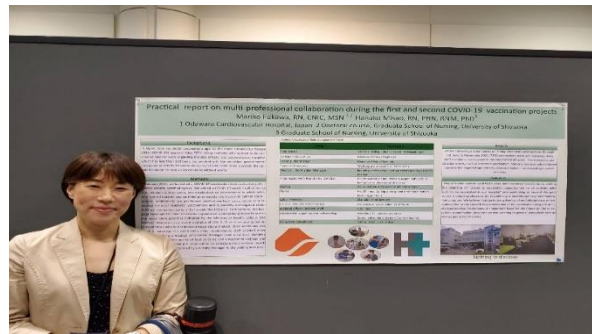


## 報告書

### Association for Professionals in Infection Control and Epidemiology 2023 ポスター発表

2023年6月26日～28日、アメリカ合衆国フロリダ州オーランドの Orange County Convention Center で開催された Association for Professionals in Infection Control and Epidemiology (感染管理疫学専門家協会) の年次集会に参加しました。2023年に協会が掲げた学習目標は、「参加者が感染予防と制御および医療疫学の分野における研究成果を共有および議論し、アイデアや洞察を交換し、コラボレーション、キャリア、および専門能力開発のためのネットワークを構築すること」でした。大会初日には、社会学者で作家のバーティス・ベリー博士による基調講演が行われ、「新型コロナウイルス感染症のパンデミックの暗闇から抜け出し、感染予防プログラムを強化し、感染予防の分野を次のレベルに引き上げる必要がある」という明確なメッセージが発信されていました。私は、外来診療感染予防プログラムの教育講演や、コロナワクチン接種率について報告するセッションなどに参加しました。会場には、米国のみならず、世界中から感染管理・疫学の専門家の皆様が参加されており、活発な議論が行われていました。



また、私は学術集会3日目にポスター会場でポスタープレゼンテーションを行いました。発表内容は、本邦の多くの医療機関で感染管理の任を担う感染管理認定看護師が中心となり、100床未満の小規模循環器病院で実際に取り組みされたコロナワクチンチームの立ち上げから、大規模ワクチン接種提供体制の構築とその実際についての実践報告をまとめたものでした。学会に参加している世界各国の感染管理の専門家の皆様に、日本の小規模病院で行われたワクチン接種の取り組みを報告することができ、その実情を知っていただく機会となったと思っております。発表の際には、多くの方々に興味をお持ちいただき、英語で質問を受けましたが、十分に聴き取ることができず、不完全な対応で終わってしまいました。この機会を通して、改めて英会話トレーニング継続の必要性を痛感いたしました。

この度は、貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。

大学院看護学研究科 博士後期課程  
看護学専攻  
府川 真理子